



長久手市立地適正化計画策定のためのワークショップ “あえて歩いてみたくなるまち”について考えてみませんか？

第1回 Newsletter

TEL : 0561-56-0622
E-mail : keikaku@nagakute.aichi.jp

発行：長久手市役所都市計画課

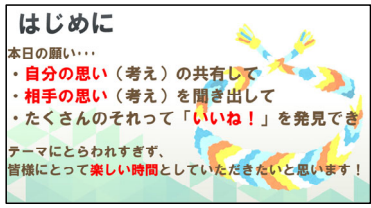
長久手市では、将来の人口減少・高齢化を見据え、コンパクト+ネットワーク[※]なまちづくりを進めるために「長久手市立地適正化計画」の策定を進めています。

6月17日、西小校区共生ステーションにて、“あえて歩いてみたくなるまち”について考えるワークショップを開催しました。当日は飛び入り参加の方も含め、総勢20名に参加いただき、とても活発なワークショップとなりました！
※医療・福祉施設、商業施設等や住居がまとまって立地し、様々な世代の住民が公共交通・徒歩等により容易にアクセスできるまちづくりの考え方

1 はじめに

長久手市が目指す“あえて歩いてみたくなるまち”について、ワークショップの位置付け、市街地の整備経緯等の説明がありました。

また、本日の願いとして「テーマにとらわれすぎず楽しい時間としてほしい」と話がありました。



2 地区の将来について

「住みやすい、歩いてくらせる、あえて歩いてみたくなる」といったキーワードから、現在、20年後の自分が「どのような暮らし方がしたいか」、「どのようなまちにしていきたいか」を考え、まちの将来像を自由に妄想し、話し合いました。

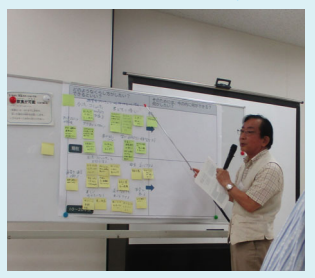
A グループの主な意見

- 現在
 - ・交流・コミュニティがあるまち
 - ・子どもが安全に遊べる優しいまち
 - ・緑があるまち
 - ・外で体を動かす、お出かけの機会
 - ・学べるまち
 - ・楽器・アカペラの練習ができるまち
 - ・移動が便利なまち
 - ・NO車DAYがあるまち

子育て中なので、子どもがきっかけでつながりが増えるとうれしいな

NO車DAYを作ってみよう

勉強や趣味で気軽に利用できる場所があるといいよね



- 20年後の未来
 - ・交流・コミュニティを大切にする人・まち
 - ・ご近所・趣味の仲間とつながっていたい
 - ・安全、平和なまち
 - ・美しいまちなみ・歩きたくなる景観
 - ・車がなくても生活できるまち
 - ・大きな本屋があるまち

B グループの主な意見

- 現在
 - ・勉強や趣味を楽しめるまち
 - ・交通安全・安心なまち
 - ・子どもがのびのびと遊べる公園・場所
 - ・大切なものをリサイクル
 - ・公共サービスが充実したまち
 - ・やっぱり渋滞の解消・施設の更新は必要

- 20年後の未来
 - ・裸足で遊べる場所
 - ・本を楽しめるまち
 - ・にぎやかな商店街
 - ・移動しやすいまち
 - ・緑・農業を楽しめるまち
 - ・多世代交流ができるまち

廃材を使って工作ができればおもしろそうじゃない？

自分の興味のあることを勉強できる場がほしいな



子どもと一緒に裸足で遊べるような場所があればいいな

地域みんなで道具をシェアできれば便利だね

C グループの主な意見

- 現在
 - ・散歩・ランニングを楽しむまち
 - ・グリーンロード・緑でつながるまち
 - ・パパ友コミュニティ
 - ・飲食・アミューズメントを楽しむまち
 - ・仕事帰りに一杯できるまち
 - ・アウトドアを楽しむまち

まちに緑が多いと歩いてみたくなるよね

最近はまっているランニングをもっと楽しみたい

パパ友の集まりがあったら参加してみたい！



3 まとめ

各グループの発表後、吉村先生（日本福祉大学教授）から、総括をいただきました。

自分のライフスタイルや家族のことを思い浮かべて どのような暮らしがしたいか、具体的なアイデアが多く、第2回につながる場となりました。現状の課題からではなく、自分のしたい暮らしをスタートに、その実現に向けてポジティブに考えることがとても大事だと思います。このワークショップが市民主体のまちづくりのきっかけになり、これから具体的な活動へと広がっていくことを期待しています。



吉村 輝彦 先生

次回 “あえて歩いてみたくなるまち” とするには何が出来る？何がしたい？

7月29日(土)
10:00~
西小校区共生ステーション

右QRコード、都市計画課窓口または電話からお申込下さい。
当日参加も可能です。家族・友人をお誘いの上、ふるってご参加下さい！



めずらしくて美味しいお菓子を用意してお待ちしています～